



第34回 全日本学生選手権個人ロードレース大会



2018年6月10日(日) 静岡県伊豆市大野 日本サイクルスポーツセンター 5kmサーキット
主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催: (公財)日本自転車競技連盟
協賛: 公益財団法人 JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
井上ゴム工業 WIN AND WIN, LTD(WIAWIS) 株式会社パールイズミ
協力: 株式会社日直商会

Communiqué.1-1

2018年6月7日

大会総務委員長 田口真一郎

1. コースに関する諸注意

本大会においては、チーム車両を5kmサーキット内指定駐車場への入場を可とする。出場人数にて入場可とする車両台数を決定し、受付時に手交する。5名以下1台、6名以上2台までとする。

入場するルートは以下の通り。**レース終了まで移動、退場できないので注意すること。**



門の開錠時間は、7:15~7:45 までとする。コース内は入場後、コース内は順走とし、補給エリア(秀峰亭)への走行も可とする。ただし、8:00 までに指定駐車場に移動すること。

ただしこの門から入場できるのは選手のみとし、監督・マネージャーが同乗する場合、関係者割引券を入場券を購入し入場すること。関係者割引券は受付時に配布する。

入場券は入場ゲートの窓口での購入のみであり、車両通行の門では購入できない。窓口では 7:00 より購入可能、入場ゲートからの入場も 7:00 から可能となっている。

2. 駐車場について

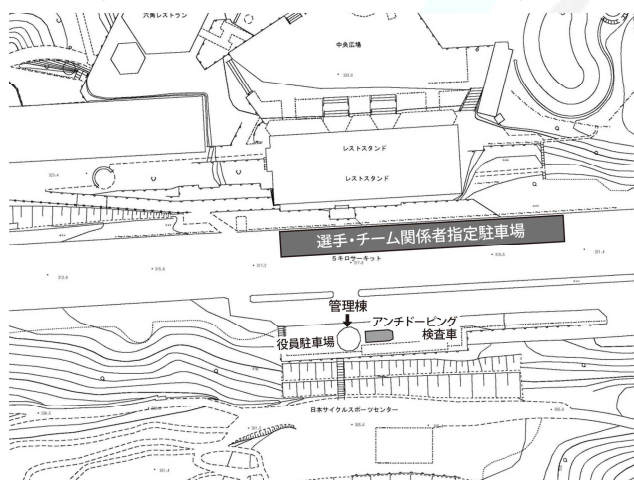
指定駐車場に入れる車両は、チーム名を表示すること。

選手および関係者の駐車場は下図に示す駐車場とする。

駐車場の大会総務委員の指示に従い駐車すること。

テントの使用は認めるが、風で飛ばされないよう配慮し、節度をもって使用すること。

また、入場できない車両についてはCSC駐車場に駐車し、テント及びローラーの設置は不可とする。



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>





第 34 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会



2018 年 6 月 10 日(日) 静岡県伊豆市大野 日本サイクルスポーツセンター 5kmサーキット
 主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟
 協賛: 公益財団法人 JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
 井上ゴム工業 WIN AND WIN,LTD(WIAWIS) 株式会社パールイズミ
 協力:株式会社日直商会

Communiqué.1-2

3. 大会時程について

本大会は以下の通りで予定している。

6月10日(日)		
7:00~7:30	選手受付(男子+女子)	ベロドローム駐車場内
7:30	競技役員打合せ	大会本部前(秀峰亭前)
8:00~8:45	検車・サインチェック(男子+女子)	大会本部前(秀峰亭前)
8:00	男女監督会議	大会本部前(秀峰亭前)
8:45	開会式	大会本部前、スタートラインにて
9:00	男子レース・スタート	140 km (5km × 28周)
9:01	女子レース・スタート	60 km (5km × 12周)
14:00(予定)	男女表彰式・閉会式	大会本部前、スタートラインにて
15:00	あと片づけ・解散	

コース試走は、8:00~8:30 までとする。ただしコース内に車両が入るためコースクリア確認後の開始とするため、役員の指示に従うこと。

4. ゴミ投棄厳禁の徹底

ゴミは、各校で必ず責任を持って持ち帰ること。競技中の選手がボトル・食料・ゴミを道路上に落とすことができる区間は、補給区間もしくは手前のボトル・ゴミ捨て区間に限定される。チーム関係者は選手の安全を第一に回収に協力すること。他の区間でのボトル・食料・ゴミの廃棄は禁止する。廃棄した競技者には、3,000 円/件のペナルティーを科すものとする。

5 .5km サーキットの S/F 地点までの移動時の注意

レース当日もマウンテンバイクコースは通常営業しているため、スタート/フィニッシュ地点(秀峰亭)への移動時には、走行の妨げにならないように注意すること。

通行可能な具体的な動線については、[こちらのリンク](#)を参照のこと。

※前回の大会開催時に、マウンテンバイクコースの利用者から、走行の邪魔をしている人がいるという苦情がありました。

また、日本サイクルスポーツセンター園内は自転車の乗車は禁止となっている。移動の際には乗車することなく、押して移動をすること。

レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>





第 34 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会



2018 年 6 月 10 日(日) 静岡県伊豆市大野 日本サイクルスポーツセンター 5kmサーキット
主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟
協賛: 公益財団法人 JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
井上ゴム工業 WIN AND WIN,LTD(WIAWIS) 株式会社パールイズミ
協力: 株式会社日直商会

Communiqué.2-1

大会チーフコミッサー 近嵐智加良

1. ゼッケン・フレームプレートの取付について

ゼッケンの装着は一般規則に準ずる(右図参照)
ゼッケン・フレームプレートは大会終了後、速やかに大会本部に返却のこと。
未返却・紛失は 1 枚につき 1,000 円のペナルティーを科す。
フレームプレートは、フレーム前部中央に装着することを原則とする。
中央に装着できない場合、左側に寄せること
また、フレーム前部への装着が不可能な場合、シートピラーへの装着を認めるが、脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかりと固定すること。



2. 使用機材について

JCF 競技規則第 5 章第 16 条 1. (3)の通り、大会で使用する機材は、あくまで製造者によって修理された場合(製造者による保証)に限られる。第三者が修理した機材は出走を認めない。

ホイールは JCF 競技規則第 5 章第 16 条 3. (2)⑧に従った車輪のみ競技に使用できる。具体的には、「通常の(伝統的な)形式の車輪」は無条件に使用できるが、それ以外の車輪は、UCI ウェブサイトに掲載されている製品のみ使用できる。ここでいう「通常の(伝統的な)形式の車輪」とは、16 本以上の金属スポーク(そのスポークの直径は 2.4mm 以下、楕円スポークも可)をもち、リムの断面が、幅・高さとも 25mm 以下のものをいう。従来型のアルミリム+ステンレス・スポークの車輪はほとんど使用可能であるが、念のため、使用車輪の寸法を確認すること。これに反する車輪を使用した場合は、競技後に判明した場合も含み、自動的に失格となるので注意されたい。

落車等により衝撃があったヘルメット又はフレームの使用は認めない。ただし、各製造者がその安全性を書面等により保証し、選手自身が検車時にそれを提示できる場合はその限りでない。

3. 器材の交換について

共通器材車によるニュートラルサービス(四輪車 1 台及び二輪車 1 台で行う。共通器材車用のホイールは主催者にて用意をするが、自分の用意したホイールを共通器材車に載せることを希望する学校は、状況により他の競技者により使用されることがあり得ること、共通器材車に載せられたホイールが供出者本人に必ずしも渡ることは保証されないことを了承のうえ、チーム名を明記し、スタート 30 分前までに、大会本部まで持参すること。レース中に交換ホイールを受け取った者は、レース終了後、速やかに大会本部に返却すること。
また補給エリア手前の PIT 区間においてのみ地上にいるチームスタッフからの器材提供・修理支援を認める。

4. サインシート・検車について

サインシートの署名は、開会式会場の検車場所付近に於いて、8:00~8:45に行う。
ユニフォーム(ゼッケンを装着)・ヘルメット着用、レース用シューズを履き、レースで使用する自転車(ゼッケン No.と同じフレームプレートを装着)を準備の上で参集すること。

5. スタート・ラインでの整列順序

- ・最前列: 前年度本大会上位 10 位以内の者
- ・第二列: ロードカテゴリ・クラス 1(男子のみ)
- ・第三列以降: ロードカテゴリ・クラス 2(男子のみ)

レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>





第 34 回 全日本学生選手権個人ロードレース大会



2018 年 6 月 10 日(日) 静岡県伊豆市大野 日本サイクルスポーツセンター 5kmサーキット
主催: 日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟
協賛: 公益財団法人 JKA 公益社団法人全国競輪施行者協議会 一般社団法人日本競輪選手会
井上ゴム工業 WIN AND WIN,LTD(WIAWIS) 株式会社パールイズミ
協力:株式会社日直商会

Communiqué.2-2

6. リアルスタートについて

スタート後、一定区間迄はパレード走行とする。正式スタートはコミッセルカーからの緑旗等の合図によってスタートする。

7. 飲食料補給

飲食料補給は、女子:6 周回目完了直前(スタート後約 30Km)から 11 周回目完了直前(スタート約 55km)迄、男子:7 周回目完了直前から 27 周回目完了手前(スタート後約 135Km)迄、フィニッシュ地点近傍の指定補給区間にて選手の進行方向右側からのみ認めます。補給区間の開始・終了地点は当日現場にて表示する。補給区間に立ち入ることができるのは、ID カードを着用し、下記の人数を満たすものに限る。IDを着用しないものが立ち入ることができない。
選手1~4 名→2 名、5~8 名→3 名、9 名以上→4 名
男女ともエントリーしているチームについては、男女の合計数にて判定する。

8. 失格時・途中棄権時の注意事項

原則として先頭から 5 分遅れとみなされた選手は失格とする。

制限時間未満であっても、コミッセルが完走不可能と判断した選手は失格とする。失格となった選手は、安全な場所で一旦停止し、腰ゼッケンを自分ではずし、もしくはジャージを裏返してゼッケンを見えないようにして自力で戻ることを原則とする。逆走はいかなる場合も認められない。フレームプレートはレース終了まで外してはならない。コミッセルの指示に従わない場合、罰金を科すことがある。
自ら途中棄権をした競技者は、フィニッシュ地点の審判員に棄権したことを必ず申告すること。

9. 無線機の使用禁止

選手の無線機使用は禁止とする。

10. その他

表彰式に於いて、帽子、ヘアバンド、サングラスの携帯・着用、サンダル履きは認められない。

大会当日の緊急連絡先:090-9923-8007(総務委員長携帯)

レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://jicf.info/>



nichinao

